

※販売店様へのお願い「お手数ですが、販売時に店名・販売日の記入をお願いします。」

製品名		バリューエクスパワーフィルター VX-120	
お客様	おところ	〒	
	おなまえ	TEL	
※お買上げ日		保証期間	お買上げ日より2年
※販売店	所在地	〒	
	店名	TEL	

●お買上後2年間の保証期間内に説明書にそって正常にご使用いただいたにもかかわらず、万一故障した場合には無料で修理・調整いたします。修理・調整は、お買上げ店もしくは、弊社インフォメーションセンターにご連絡ください。

●つぎのような場合は、保証期間内でも適用外となります。

- 1) 誤ったご使用や、不注意による故障または損傷（機種不適合も含む）
- 2) 不当な修理や改造による故障または損傷
- 3) 火災・水害、雷、地震などの天変地異や、停電等による故障または損傷
- 4) 飼育動物による故障もしくは損傷
- 5) 本保証書に販売店名およびお買上げ年月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えた場合（購入時の販売店のレシートでも代用できます。）
- 6) 本保証書を紛失された場合
- 7) 消耗品（インペラー／ドライブマグネット・Oリング）、付属品、ろ材などの消耗による交換

消耗品、付属品、ろ材は保証対象外です。

※本保証書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

修理・調整連絡欄

★（お手数ですが、修理・調整を取り次がれた販売店様にご記入ください）

取次店	所在地	〒
		★ TEL
取次店	所在地	〒
		★ TEL
取次店	所在地	〒
		★ TEL
取次店	所在地	〒
		★ TEL

修理・調整記録欄（メーカー記入欄）

年月日	保証	サービス内容	確認印
	内・外		
	内・外		
	内・外		
	内・外		
	内・外		

●本書は日本国内のみ有効です。

保証期間以降及び保証適用範囲外での修理・調整は有料となります。その場合も本保証書を添えて、お買上げ店もしくは弊社インフォメーションセンターにご相談ください。

●表示してある価格は標準小売価格です。消費税は含まれておりません。

●製品の仕様、希望小売価格は予告なく変更することがあります。

01G32

本品に万が一破損や部品不足などがありましたら、お早めに購入店が弊社までお知らせください。

本製品に関するご相談は、購入店もしくは弊社の下記窓口までお願いいたします。なお、修理等によるお預かり期間中、代わりのフィルターのご提供はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

（弊社相談窓口）

テトラ インフォメーションセンター 電話 03(3794)9977

（受付日時）月～金曜日（土・日・祭日は休業）、午前10～12時、午後2～5時

※テープ案内に従ってご操作願います。回線混雑ときは恐れ入りますが、お掛け直しをお願いいたします。

（手紙・修理申込品送付先）

〒153-0062 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル テトラ ジャパン(株) テトラ インフォメーションセンター行

※お問合せや修理お申込の際は、機種名や購入店、症状、水槽環境等についてお知らせいただければ幸いです。

テトラ ホームページアドレス www.tetra-jp.com

Tetra

保証書付

テトラ バリューエクスパワーフィルター VX-120

取扱説明書

Value



EX
power
VX
F I L T E R

01 安全のため以下の事項を必ずお守りください

- この度は、テトラ バリューエックスパワーフィルターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために必ず本取扱説明書をお読みいただき、
理解していただいてからご使用をお願いいたします。
- 保証書もご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認のうえ、
大切に保管をお願いいたします。

- 誤った使用方法、管理不十分等による事故、または魚・水草などの生体の病気、死亡、枯死等については、
弊社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- なお本品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

警告

- 水中に手を入れる時には前もって電源を切ってください。また、濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。
- AC100V電源のみお使いください。また変圧器などをご使用しないでください。
- 異常が発生した場合はただちに電源を切ってください。また、メンテナンス、移動などの場合には前もって電源を切ってください。
- パソコンやテレビなどの家電製品の近くに水槽やフィルターなどを設置しないでください。
- プラグの埃や汚れを放置せず、コンセントから抜いて除去してください。安全のため定期的に除去することをおすすめします。
- コンセントからプラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。手でプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- 電源コードは、挟んだり束ねたりしたまま使わないでください。また、スイッチ取り付けなどの改造をしないでください。
- プラグやコンセントに水がかからないように、プラグの近くのコード部に水切りのたわみをつけてください。
- 定格オーバーや水漏れ感電事故などを防ぐため、タコ足配線や延長コードのご使用は避けてください。
- 子供がいたずらなどをしないよう十分にご注意ください。
- 引火性のもの(ガソリン、シンナーなど)の近くで使わないでください。



たわみ部

注意

- 梱包などについては万全を期しておりますが、購入後は早めに破損や部品不足などがないか確認願います。
- 本品は水面水位より必ず低い位置に設置してください。バリューエックスパワーフィルターをセットする位置は、水槽水面とフィルター本体底の距離が80cm～150cm以内になるようにセットしてください。
モーターヘッド位置が低いほど水の自然落下力(サイホン)が強まり、水が停滞しないので長く安定して循環します。またエア混流や騒音も減ります。
- モーター過熱防止安全装置(サーマルプロテクター)を搭載しています。空運転によるオーバーヒートが発生した場合、停止することがあります。過熱の原因を取り除きモーター部の温度が下がれば復帰しますので、水の自然落下力(サイホン)が減衰していないか、目詰まりなどによる水の停滞が起きていないか、ホースが折れ曲がっていないか、本体やホース内に空気の層がないかどうか、加熱の原因を点検してください。復帰しない場合は購入店が弊社にご相談ください。
- 運転前に接続が正しいかどうか再確認し、運転後は水漏れや運転異常がないかどうか少なくとも1時間は監視してください。
- 日本国内限定、屋内仕様、観賞魚水槽専用ですので、それ以外に使用しないでください。
- 強度のしっかりした水平なところに設置してください。本体を横にしたり物を乗せたり被せたりしないでください。
- 電源コードやコイルは防水上、修理交換できない構造になっていますので大切に取扱ってください。
- 本品には弊社純正ろ材をご使用ください。またろ材の詰めすぎは流量を低下させますのでご注意ください。
- ホースは最短距離で接続してください。長すぎますとホースの折れ曲がりや流水抵抗を起こします。
- 本体同士の連結や複数の水槽間での連結循環、断続運転やタイマー運転等はしないでください。
- 各部の定期清掃や、パッキンなど消耗品を定期的に交換することによって、故障を減らしモーターの寿命を延ばすことができます。
- 万一の故障や事故に備え、エアポンプによる通気や補助フィルターの併用を行ってください。
- 海水魚や大型魚など強い過能力を必要とする観賞魚の水槽には、大きめの機種を選択してください。適合水槽は魚の数、環境により異なります。
- 稚魚・小魚や衰弱魚は油膜取りやストレーナーに吸引されることがありますので十分に注意してください。
- フィルターケース底部のゴムラバーにより、設置のあとが付く場合がございます。フィルター設置場所にご注意ください。

Tetra Value EX POWER FILTER



テトラ バリューエックスパワーフィルター

VX-120

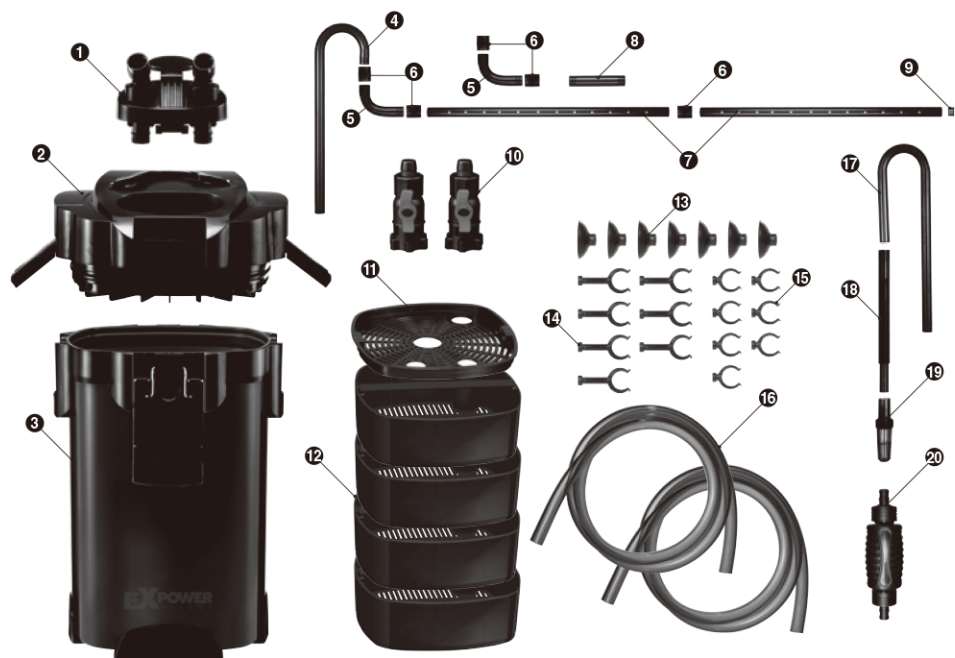
02 製品仕様

品 名	バリューエックスパワーフィルター VX-120
ポンプ流量(50 / 60Hz)	1050 / 1150 ℓ/時
適合水槽(サイズ / 容量)	90～150cm / 約150～400ℓ
最大揚程(m)	1.5
ろ過槽容積(ℓ)	12.0
ろ材コンテナ(個)	2ℓ×4コンテナ
吸・排水ホース サイズ(mm)内径	16 / 16
定格周波数(Hz)	50 / 60Hz共通
定格消費電力(50 / 60Hz)	22 / 22 W
使用電源	AC100V

※適合水槽は、飼育魚種や飼育尾数により異なります。

03 各部品の確認 (セット前に必ずご確認ください)

テトラ バリューエックスパワーフィルター VX-120



※写真は現物と異なる場合があります。

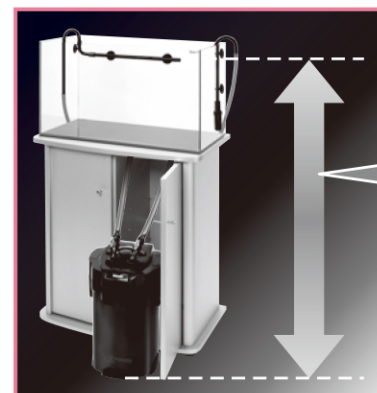
専用ろ材



- | | | |
|----------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 1 ホースアダプターユニット
(Oリング付き) | 10 ホースストップ×2 | 19 ストレーナー |
| 2 モーターヘッド(Oリング付き) | 11 ろ材固定盤 | 20 スターター
(呼び水用ハンドポンプ) |
| 3 フィルターケース | 12 ろ材コンテナ×4 | |
| 4 排水用オーバーフローパイプ | 13 吸着盤×7 | |
| 5 L型コネクター×2 | 14 ロングクリップ(小×7) | |
| 6 ジョイント×5 | 15 ショートクリップ(小×7) | |
| 7 排水パイプ×2 | 16 吸・排水ホース(内径16mm)
約1.5m×2 | 21 EXウールマットL(白) |
| 8 パイプS | 17 吸水用オーバーフローパイプ | 22 EXブラックスポンジL |
| 9 止水栓 | 18 伸縮吸水パイプ(Oリング付き) | 23 活性炭 |
| | | 24 EXリング |

04 設置方法／ろ材の確認

1 バリューエックスパワーフィルター120をセットする位置



設置位置

VX-120/80~150cm

水槽水面水位と本体の底部との高低差は、最大150cm以内とします。また、サイホンの原理で水を呼び水しますので、必ず水面水位より低くなるように本体をセットしてください。

2-1 ろ材の確認

1 バリューエックスパワーフィルターのモーターヘッドとフィルターケース部を次の手順で取りはずします。



1 テトラ ロゴマークの付いたセイフティバックルを下から上に持ち上げて固定を解除します。



2 リフトバックルの下部を持ち上げて開きます。最後まで(90度)開くことによりモーターヘッドが少し持ち上がります。



3 リフトバックルの片側を掴み、フィルターケースフレームをおさえて上に持ち上げ取りはずします。

！ 親指を挟まないようご注意ください。

2 フィルターケース部からろ材固定盤、ろ材コンテナを取りだし、ろ材コンテナ内のろ材(MEDIA)を確認してください。



04 設置方法／ろ材の確認

2-2 ろ材の洗浄

① すべてのろ材を洗浄してください。



ろ材をろ材コンテナよりすべて取り出し、水道水などですべてのろ材を軽くすすぎ洗います。(ビニール袋入りのバيوグラスリングと活性炭はビニール袋より取り出してご利用ください。)洗浄が終わりましたら再びろ材コンテナ内に同じ順番でセットします。(セット順番はP.4参照)

❗ **ビニール袋入りのろ材は必ずビニール袋より取り出してご使用ください。**

❗ **セット時にフィルターケース内でコンテナ及びろ材固定盤が斜めになっていないことをご確認ください。**

② ろ材コンテナをフィルターケースにセットします。



ろ材コンテナをフィルターケースにセットする時、ろ材コンテナの取っ手部分に記載されている「→(矢印)」マークをフィルターケースに記載されている「→(矢印)」部に合わせます。ろ材コンテナは接続パイプ部に合わせ、ひとつのパイプとして通じるようにセットします。

※ろ材コンテナ部の「→(矢印)」マークを必ず合わせてください。

※コンテナ及びろ材固定盤が正しく水平にセットされていないとモーターヘッドとの接続が困難になり、水漏れや破損の原因になります。

3 モーターヘッドのフィルターケースへの装着

各パーツを正しく合わせましょう。



モーターヘッドに装着されているフィルターケース Oリングが汚れていたり異物が付着していないかを確認します。モーターヘッドをフィルターケースに載せます。この時モーターヘッドの吸水コネクタが、ろ材コンテナの接続パイプ部と合うようにします。

❗ **モーター部の吸水コネクタ部とろ材コンテナの接続パイプ位置を合わせて、モーター部をセットします。位置が違っていますと、モーター部とフィルターケース部は固定できません。**

※水漏れ防止のため、フィルターケース Oリング(ゴムパッキン)が付いていることを必ずご確認ください。

4 モーターヘッドへのホースアダプターユニットの装着

① ホースアダプターユニットの取り付け。



ホースアダプターユニットの中央レバーをホースアダプターユニットより引き起こした状態でモーターヘッドに装着します。(中央レバーを引き起こさないと、ホースアダプターユニットは取り付けられません。)

※使用時の水漏れ防止のため、Oリング(ゴムパッキン)が付いていることをご確認ください。

② ホースアダプターユニットを固定します。

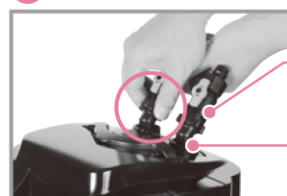


モーターヘッドにホースアダプターユニットを奥まで押し込み、装着したら、中央レバーをモーターヘッド中央に最後まで倒します。これでホースアダプターユニットは固定されます。

❗ **ホースアダプターユニットがしっかりとモーターヘッドの奥に固定されていることをご確認ください。さらに中央レバーをモーターヘッド中央に最後まで倒してください。**

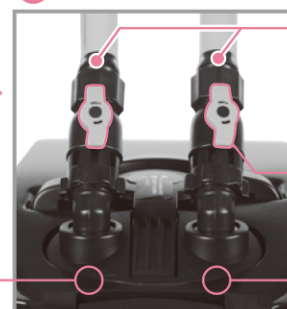
5 吸水・排水ホースの取り付け

① ホーススタップをホースアダプターユニットに取り付けます。



ホーススタップのネジを回して、ホースアダプターユニットに接続します。

② 吸水・排水各ホースをホーススタップに取り付けます。



各ホースを深くしっかりと差し込み、ホース固定ネジを回して締め付けます。

コックの向きは写真のように縦にします。

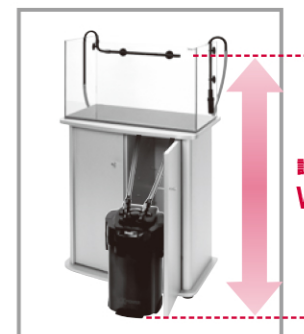
OUT 表示
排水側

IN 表示
吸水側

※ホースは、テトラ エクスパワーフィルター専用ホースを必ずご使用ください。

③ 設置位置を再確認してください。

ホースの取付けができましたら、水槽水面とフィルター本体底部の距離が80cm～150cm以内になっているかどうかを確認します。

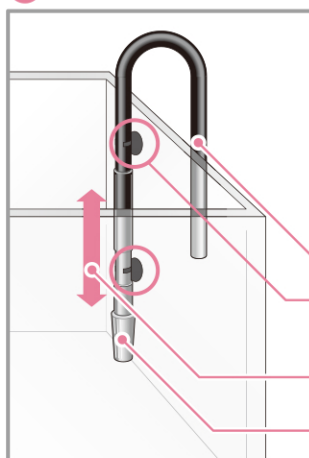


設置位置
VX120 / 80~150cm

04 設置方法／ろ材の確認

6 吸水・排水パイプのセット

① 吸水パイプを取り付けます。



伸縮吸水パイプとストレーナー部を接続し、さらに吸水用オーバーフローパイプを接続します。伸縮吸水パイプの細い部分と吸水用オーバーフローパイプにクリップ付吸着盤を取り付けて水槽内側壁面に固定します。

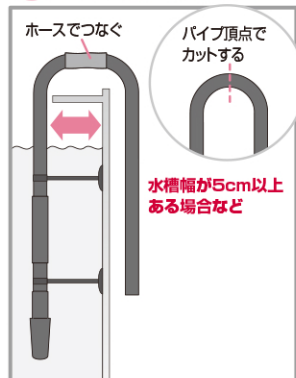
クリップは、ロング、ショート of 2タイプがあります。水槽上部の枠の形状に合わせてご使用タイプを変えてください。

吸水用オーバーフローパイプ
クリップ付吸着盤

伸縮吸水パイプの長さは水槽の深さに合わせて、調整してください。
ストレーナー

※吸着盤は空気中では吸着力が弱まりますので、水中でご使用ください。

！ 水槽上部の枠が吸水用オーバーフローパイプより広い場合



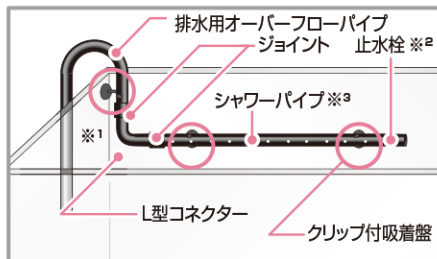
吸水用オーバーフローパイプより枠の幅が広く、パイプが入らない場合はパイプの上部をノコギリなどで切断して、短く切ったホースでつなぎます。

② 排水パイプを取付けます。

ユーロエックスパワーフィルター120には、シャワーパイプ…2本 / L型コネクター…2個 / ジョイント…5個 / パイプS…1個 / 止水栓…1個が付属されています。※水槽サイズや環境に合わせて、お客様の工夫にてご使用ください。

基本的セット例

シャワーパイプ…1本
L型コネクター…1個
ジョイント…2個
止水栓…1個
を使用します。



排水用オーバーフローパイプとシャワーパイプをL型コネクターとジョイントを利用して接続します。止水栓を付けて、クリップ付吸着盤で水槽壁面に取り付けます。※1排水用オーバーフローパイプをしっかりと固定するために、水槽内側上部への使用をおすすめします。

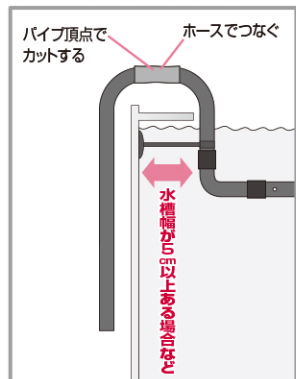
※2シャワーパイプからの水流を弱めたい場合は止水栓を外してご使用ください。

※3水槽水中に酸素を豊富に溶け込ませたい時は、シャワーパイプは水面より上に取付けてください。

120cm水槽の場合はシャワーパイプ2本をジョイントでつなぎ合わせてご使用ください。(P.8参照)

90cm以下の水槽の場合はシャワーパイプ1本でご使用いただくか、水槽幅と合わせシャワーパイプをノコギリ等でカットしてご使用ください。

！ 水槽上部の枠が排水用オーバーフローパイプより広い場合



排水用オーバーフローパイプより枠の幅が広く、パイプが入らない場合はパイプの上部をノコギリなどで切断して、短く切ったホースでつなぎます。

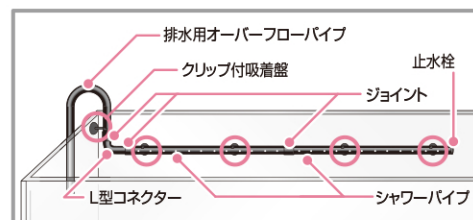
6 吸水・排水パイプのセット

その他のセット例

大型水槽(120cm以上)や水槽の奥行きが55cm以上ある場合、あるいはシャワーパイプを使用しない場合は、下記のようなセットも可能です。付属のパーツを利用し、工夫してご活用ください。

① 水槽幅120cm以上の場合

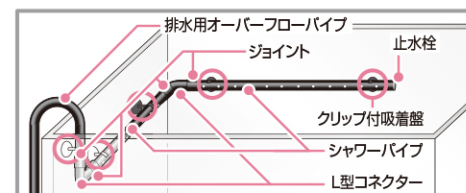
ジョイントを利用し、シャワーパイプを2本使用できます。



(注意) シャワーパイプ2本接続した場合、シャワーから排出される水流が弱くなります。

② 奥行きが55cm以上ある水槽の場合

L型コネクターを2個使用し、シャワーパイプ2本をL字に曲げてご使用いただくこともできます。

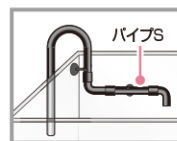


③ シャワーパイプを使用しない場合

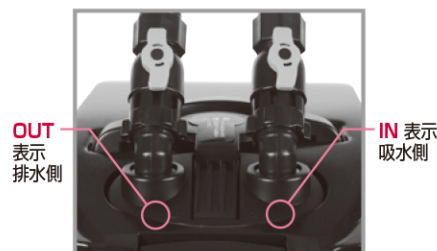
1) L型コネクター2個をジョイント2個で接続した場合



2) L型コネクター2個とジョイント、パイプSで接続する場合



③ 吸水・排水ホースを取り付けます。



● 吸水はホースアダプター IN表示側です。ホースを吸水パイプへ接続し、ホース固定用ネジでホースを締め付けて、水が漏れないようにします。

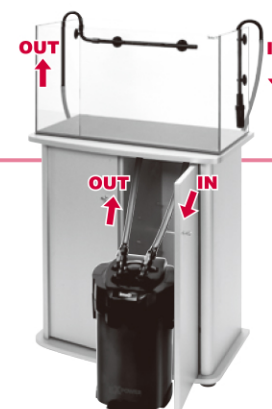
● 排水はホースアダプター OUT表示側です。ホースを排水パイプへ接続し、ホース固定用ネジでホースを締め付けます。

！ IN、OUTは必ずご確認ください。

！ ホースは途中で折れ曲がったりしないよう、なるべく短めに切断してください。ホースが必要以上に長いと流量低下の原因になります。

7 セット完了

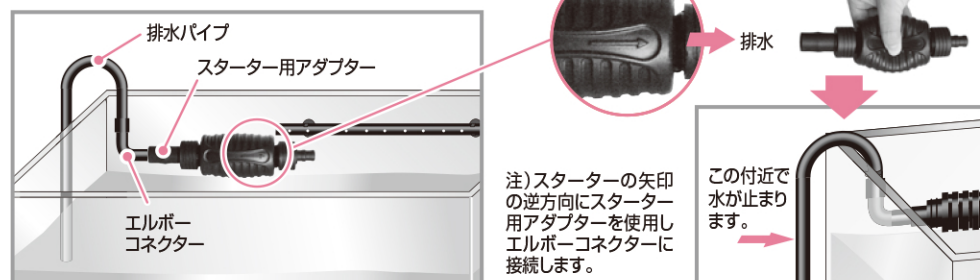
すべての接続が完了いたしました。



05 始動方法

1 スターター(呼び水用ハンドポンプ)を使用して呼び水を開始

スターターで水槽の水をフィルター部に呼び込みます。
 注) フィルターケース内に水が入った状態では呼び水はできません。



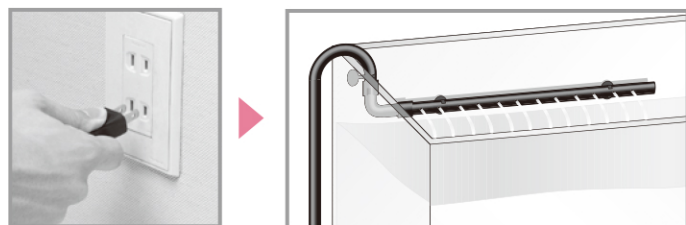
シャワーパイプの手前にスターターを取り付けます。水が自然に呼び込まれるまで、スターターを素早く繰り返し押ししてください。サイホン効果により水槽の水が吸水側ホースからフィルターケース内に流れます。排水側ホースの水が水槽水面付近にまで上がると吸水が止まります。吸水が完了したら、シャワーパイプを排水パイプに接続します。

❗ スターターで呼び水をするときは、フィルターケース内に水が入っていないことを確認してください。

❗ 始動ときは排水パイプに接続するスターターは水面より上に設置してください。

2 プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

電源を入れると、シャワーパイプより水が出ます。



※シャワーパイプより十分な排水量がないときは、プラグを電源コンセントより抜き、ホースの接続、折れ曲がりがないかどうかを再度確認してください。また、プラグを電源コンセントに差し込んだ状態で本体を軽く左右に揺らして内部のエアを放出するのも効果的です。

この時各部所に水漏れがないかどうかをチェックしてください。さらに30～60分後にフィルターが正常に作動しているか、水が漏れていないかどうかを再度確認してください。

3 流量の調節方法

フードを与える時などのために、流量を調節できます。



モーターヘッドに取り付けたホースタップのcockで流量を調節できます。流量を減らす場合は、排水側ホースタップのcockで調節してください。

OUT
 流量の調節は左へ45°までにしてください。90°で完全に流水が止まります。

※排水する水量が極端に少ない場合、モーター部の冷却効果が低下し、モーターが停止してしまうことがあります。※流量を減少させている場合、長期間の使用によりろ材の目づまりが発生し、当初調節した以上に水量が弱くなることもありますので、流量調節時はご注意ください。

06 日常の点検 (ろ材の交換と洗浄)

目づまりや、汚れの付着によりフィルターの流量が低下しないように

定期的に点検・掃除を実施してください。

点検・掃除のときは水漏れに備えてタオルや防水シートを敷いて作業してください。

1 点検・掃除の前に

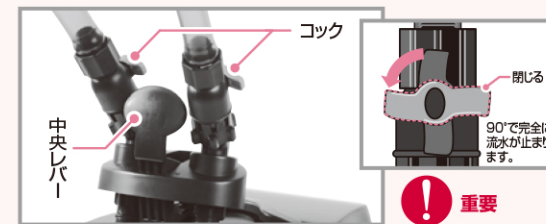
ご注意ください。



点検・掃除を実施するときは、電源を切って必ずモーターを止めてから実施しましょう。

2 ホースアダプターユニットをはずす

ホースアダプターユニットをモーターヘッドから取りはずします。



ホースアダプターユニットには、吸水・排水の流れを止める機能はありません。ホースアダプターユニットを外すときは必ずホースタップのcockを開めて(90°横に)から中央レバーを引き起こしてください。

❗ ホースアダプターユニット部をはずすときは、中央レバーを必ず引き起こしてください。不十分ですとホースより水が逆流することがあります。

3 フィルターを開ける



① テトラ ロゴマークの付いたセーフティバックルを下から上に持ち上げて固定を解除します。

② リフトバックルの下部を持ち上げて開きます。最後まで(90度)開くことによりモーターヘッドが少し持ち上がります。

③ リフトバックルの片側を掴み、フィルターケースフレームをおさえて上に持ち上げ取りはずします。

❗ 親指を挟まないようご注意ください。

06 日常の点検 (ろ材の交換と洗浄)

4 フィルターケース内の各種ろ材を洗浄

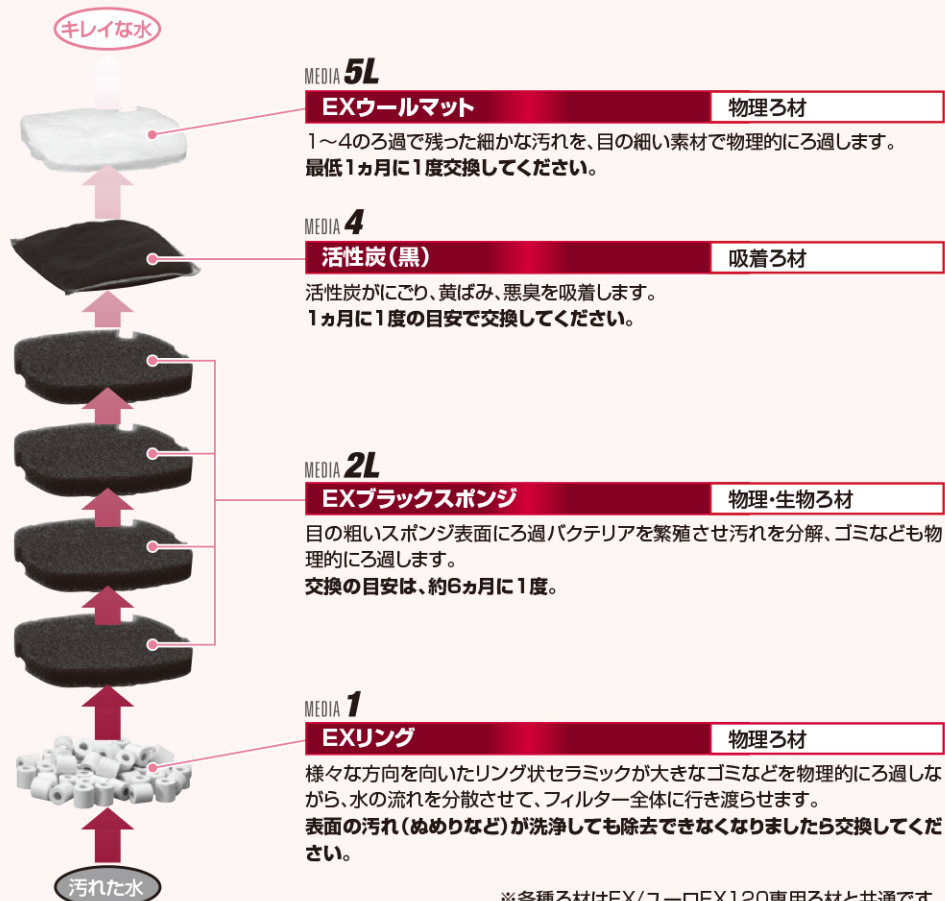
- ① フィルターケースよりろ材固定盤、ろ材コンテナを取り出します。
- ② フィルターケース内のろ材を洗浄します。



！ 水道水での直接洗浄は厳禁。

取り出したろ材コンテナのろ材に付着している汚れとゴミを、水槽の水か水槽の水と同じ水温のカルキを中和した水で洗い流してください。(この時、水道水で直接ろ材を洗浄すると、ろ材に付着・繁殖しているろ過バクテリアを水道水のカルキ(塩素)で死滅させてしまいます。)

- ③ 各種ろ材の役割とその交換時期。



※各種ろ材はEX/ユーロEX120専用ろ材と共通です。

交換用ろ材のご案内

VX MEDIA

ろ材の交換にはテトラ エクスパワーフィルター 120用の交換用ろ材をご利用ください。
各ろ材の交換の目安に合わせてろ材を交換されることをお勧めいたします。



MEDIA 5L

EXウールマットL 物理ろ材

内容量 1ヵ月に1度交換してください。
2 枚



MEDIA 4

ネット入りカーボン 吸着ろ材

内容量 1ヵ月に1度の目安で交換してください。(ネット付き)
2 袋



MEDIA 2L

EXブラックスポンジL 物理・生物ろ材

内容量 6ヵ月に1度の目安で交換してください。
2 枚



MEDIA 1

EXリング 物理ろ材

内容量 500ml 洗浄しても汚れが除去できなくなったら交換してください。

オプションろ材

EXバイオマット

物理・生物・吸着ろ材

内容量
4 個



1ヵ月に1度の目安で交換してください。

※写真は現物と異なる場合がございます。

06 日常の点検(ろ材の交換と洗浄)

5 ホース内部や各種パイプの洗浄

ホースの内部や各種パイプにゴミやコケが付着すると、流水量の低下につながります。ホース内部やパイプ内部に水道などを利用し強く水流を流したり、ホースクリーナー(別売)やパイプ/モータークリーナー(別売)を利用して、内部の汚れを洗い流してください。

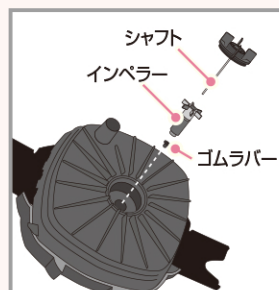
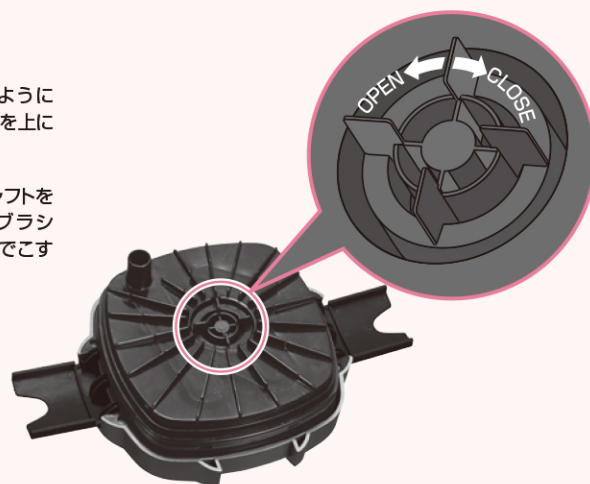


※ホースクリーナー(別売)

6 インペラーケース部のメンテナンス

インペラーケース部を掃除します。

- ① インペラーケース部カバーを矢印のようにOPEN側(反時計回り)に回し、カバー部分を上に引き抜きます。
- ② インペラーケース内部のインペラーとシャフトをラジオペンチなどで引き抜き、掃除用ブラシ(パイプ/モータークリーナー/別売※)でこすり、洗浄します。
- ③ 掃除が終わりましたら分解した時と逆の順序で、インペラードライブマグネット、インペラーケース部のカバーをセットします。①に示した矢印のようにCLOSE側(時計回り)にロックが正常位置にはまるように押し込んでください。



※交換する時、先端のゴムラバーがモーターヘッド内に残ることがあります。その場合はピンセットなどで取り出してください。



※パイプ/モータークリーナー(別売)

7 モーターヘッドの装着

すべての掃除が終了しましたら、ろ材コンテナが正しい向きにあることを確認し、モーターヘッドを装着します。



矢印マークを合わせます。

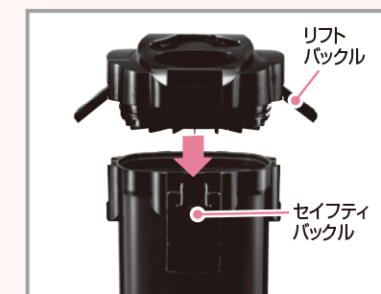
※水漏れ防止のためフィルターケースOリング(ゴムパッキン)が付いていることを必ず確認してください。



- ① フィルターケースに記載されている「→(矢印)」マークとろ材コンテナの取っ手部分の「→(矢印)」マークが合っていることを確認します。ろ材コンテナとろ材コンテナが密着し、接続パイプ同士が一つのパイプとして通じていることを確認してください。

- ② 最上段のろ材コンテナの上にろ材固定盤を載せます。

- ③ モーターヘッドをフィルターケースに装着する前に、モーターヘッドの溝に取り付けられているフィルターケースOリングに、汚れや異物の付着がないか、また、フィルターケースOリングがモーターヘッドの溝から、はずれていないかを確認してください。汚れや異物の付着があると、水漏れの原因となります。フィルターケースOリングをチェックしたあと、モーターヘッドの吸水コネクターをろ材コンテナ接続パイプに合わせて装着します。



※固定用のリフトバックルとセーフティバックル(テトラ ロゴ付)の位置を確認し、正しい位置で4カ所を閉じてください。位置が違っていると、バックルは固定できません。

- ❗ モーター部の吸水コネクターとろ材コンテナの接続パイプ位置を合わせて、モーター部をセットします。位置が違っていると、モーター部とフィルターケース部は固定できません。

06 日常の点検 (ろ材の交換と洗浄)

8 ホースアダプターユニットの取り付け

① ホースアダプターユニットを押し込みます。



フィルターを垂直になる場所に置き、ホースアダプターユニットの中央レバーを引き起こした状態でモーターヘッドへ押し込みます。

② ホースアダプターユニットを固定します。



モーターヘッドに取り付けたあと、中央レバーを倒します。中央レバーを倒したあと、ホースタップのcockがホースタップと水平になっているかを確認します。

- ❗ 中央レバーは取り付けまで動かさないでください。
- ❗ ホースアダプターユニットがしっかりとモーターヘッドの奥に固定されていることをご確認ください。
- ❗ ホースアダプターユニットの天面とモーターヘッドの天面が同じ高さになっていることをご確認ください。しっかり奥まで押し込まれていないとロックがかからず抜けてしまう恐れがあります。
- ❗ 中央レバーはモーターヘッド中央に最後まで押し倒してください。

9 呼び水・始動

ホースアダプターユニットの取り付けが終了しましたら、P.9 [05 始動方法] に従い呼び水を行った後、プラグをコンセントに差し込み電源を入れ始動させてください。

- ❗ 呼び水をするときは、フィルターケース内に水が入っていないことを確認してください。
- ❗ 始動後は各部所に水漏れがないか、また30～60分後にフィルターが正常に作動しているか、水が漏れてないかどうかを再度確認してください。

07 各種アクセサリ&パーツのご案内

専用アクセサリ&パーツのご案内

VX POWER ACCESSORIES & PARTS

パーツ

インペラー／シャフト

(内容物)
インペラー 1個
シャフト 1本
ゴムラバー 2個



品番	品名
78303	インペラー／シャフト 120用

※ユーロEX共用

パーツ

フィルターケースOリング

(内容物)
フィルターケースOリング 1個
ホースアダプターユニット
Oリング 4個



品番	品名
78305	フィルターケースOリング 120用

※ユーロEX共用

アクセサリ

ホースアダプターユニットセット

(内容物)
ホースアダプターユニット(Oリング付) 1個
ホースタップ 2個



品番	品名
78437	ホースアダプターユニットセット 120用

※ユーロEX共用

アクセサリ

ホースタップ

(内容物)
ホースタップ 2個



品番	品名
78439	ホースタップ 120用

※ユーロEX共用

アクセサリ

吸・排水パイプ

(内容物)
120 吸用水
120 排水用



品番	品名
78440	吸水パイプセット 120用
78441	排水用オーバーフローパイプ 120用

※ユーロEX共用

アクセサリ

シャワーパイプセット

(内容物)
120用
排水パイプ 2本
止水栓 1個
ジョイント 1個



品番	品名
78442	シャワーパイプセット 120用

※ユーロEX共用

アクセサリ

コネクター&ジョイント

(内容物)
L型コネクター 2個
パイプS 1個
ジョイント 5個



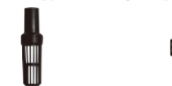
品番	品名
78443	コネクター&ジョイントセット 120用

※ユーロEX共用

アクセサリ

ストレーナー／止水栓

(内容物)
ストレーナー 1個
止水栓 1個



品番	品名
78435	ストレーナー 60/75/90/120用
78445	止水栓 120用

※ユーロEX共用

アクセサリ

ホース

(内容物)
120用
内径φ16mm



品番	品名
78432	ホース1.5m 120用

※ユーロEX共用

アクセサリ

吸着盤・クリップセット

(内容物)
120用
吸着盤 7個
ロングクリップ 小7個
ショートクリップ 小7個



品番	品名
78402	吸着盤・クリップセット 120用

※ユーロEX共用

※従来のエックスパワーフィルターシリーズのアクセサリと共用品があります。

アクセサリ

スターター(呼び水用ハンドポンプ)

(内容物)
スターター 1個



品番	品名
78472	VXスターター

アクセサリ

パイプ／ホースクリーナー

(内容物)
パイプ／
モータークリーナー
ホースクリーナー



品番	品名
78413	パイプ／モータークリーナー
78414	ホースクリーナー

※写真は実物と異なる場合がございます。 ※小売価格は販売店にお問い合わせください。

08 故障・異常の際の見分け方と処置方法

■テトラ バリューエクスパワーフィルター管理 主な異常とその見分け方、および処置方法は下記の表の通りです。

現象	原因	処置方法
モーターヘッドを フィルターケースに 装着できない	ろ材コンテナとフィルター部に記載されている「→(矢印)」マークの位置が違っている	「→(矢印)」マークの位置を正しい位置に合わせる
	ろ材コンテナ同士の重ね方不良	ろ材コンテナ接続パイプを互いにズレないように重ねる
	ろ材の詰めすぎ	余分なろ材を取り除き、ろ材表層を平らに整える
モーターヘッドから 水が漏れる	ホースアダプターユニットの装着不良	ホースアダプターユニットを正しく装着し直す
	リフトバックル、セイフティバックルをしっかりと閉じていない	すべてのリフトバックル、セイフティバックルをしっかりと閉じる
	フィルターケース部やOリングに異物や汚れが付いている	密着させたフィルターケース部やOリングをよく洗い、きれいにする
	フィルターケースOリング、またはホースアダプターユニットOリングの未着装、ズレ、損傷、劣化	Oリングの装着、あるいは交換
	モーターヘッドの角が破損している	モーターヘッドを交換する(※販売店にご相談ください)
モーターが 回転しない	電源が入っていない	電源を入れる
	シャフトの折れ	インペラー／シャフトを交換する(※販売店にご相談ください)
	インペラーの欠落、または砂利や貝殻などの異物の詰まり	インペラーのセット、または駆動部分の掃除
水流が弱くなる (ろ過機能の低下)	ホースアダプターユニット内部の汚れ	ホースアダプターユニットを取りはずし、内部をパイプ／モータークリーナー(別売)で掃除する
	ホース取り付け不良	ホースの折れ曲がりや、他の物にはさまれていないかチェックし直す
	ホース内部の汚れ	ホース内部を定期的に掃除し、吸水パイプや排水パイプをホースクリーナー(別売)かパイプ／モータークリーナー(別売)で掃除する
	吸水ストレーナーの詰まり	ゴミを取り除き、汚れを洗い取る
	ろ材の目詰まり	ろ材をろ材コンテナから取り出し、水槽水で洗う
	ろ材用ネットなどの使用	ろ材を付属以外のネットやナイロンストッキングに入れて長期間使用しないこと。使用すると短時間で目詰まりし、水流を妨げる原因となる
	ろ材の組み合わせ不良	取扱説明書通りにろ材がセットされているかどうかチェックする(P.4参照)
	EXウールマットL(白)が汚れている	新品に取り替える
	モーター内部の汚れ	モーターヘッドの駆動部分や水路を丹念にパイプ／モータークリーナー(別売)で掃除する(日常のお手入れの頁参照)
	ホースにアクセサリや他社装置の接続	アクセサリや他社装置の接続は流量低下の原因となるので、ご利用はおひかえください

現象	原因	処置方法
エアーがたまる	本体の水面位置との高低差が十分でない	必ずP.4に示す設置位置を守り、水槽水面水位より低い位置に本体をセットする
	ろ材の目詰まり	ろ材を洗浄する
	ホースアダプターユニットの接続部よりエアーが混入している	ホースアダプターユニットを正しく装着し直す
呼び水が うまくいかない	フィルターケースに水が入っている	呼び水時はフィルターケース内の水を抜く
	ホースアダプターユニットの装着不良	ホースアダプターユニットを正しく装着し直す
	本体と水槽水面位置との高低差が十分でない	必ずP.4に示す設置位置を守り、水槽水面水位より低い位置に本体をセットする
	フィルターケース内および排水部に接続されているホースやパイプ、各種機器内(殺菌灯など)に水が残っている	フィルターケース内および排水部に接続されているホースやパイプ、機器内の水は必ず抜いてください
	スターターの向きが逆	スターターの接続する向きを確かめてください
運転開始時の 異常音	ホース接続箇所からエアーが侵入している	ホース接続部をチェックし、しっかりと接続されているかどうかを確かめる
	フィルターケース内にエアーが残っている	電源プラグを3～4回抜き差しする 電源が入っている状態で、本体を軽く左右に揺らして内部に残っているエアーを放出させる
連続運転中の 異常音	呼び水が不十分のため、水が連続して流入していない(不十分な呼び水による流入水の停滞)	スターターを使って最初から正しくやり直す
	本体内部の空気残留	電源プラグを3～4回抜き差しする。 軽く本体をゆらし、空気を抜く
	インペラーあるいはシャフトの破損	部品を交換する(※販売店にご相談ください)
	10秒以上ごとに1回シャーという音がして、排水パイプよりエアーが抜ける	バクテリアの呼吸や水草の光合成などによって生じる気泡やエアーポンプ(使用時)により発生した気泡がバリューエクスパワーフィルター内にたまって排出される音で、故障ではありません
	インペラー部の水アカ・汚れや異物による流量の低下	モーターは水冷モーター型なので、駆動部に水アカや汚れなどを付着させたまま使用すると流量を低下させ、モーターの寿命を短くします。定期的にインペラーやその収納部をパイプ／モータークリーナー(別売)で掃除する

※上記に該当しない場合は、テトラ製品販売店またはテトラ インフォメーションセンター(P.19参照)にご相談ください。
●品質向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。予め、ご了承くださいませようお願い申し上げます。